

VI . 昼間人口推計

1 全市および行政区別昼間人口推計

1-1 . 推計の枠組み

(1) 推計期間

推計期間は 2015 (平成 27) 年を基準年とし、2030 (平成 42) 年時点までの 5 年毎 15 年間とした。

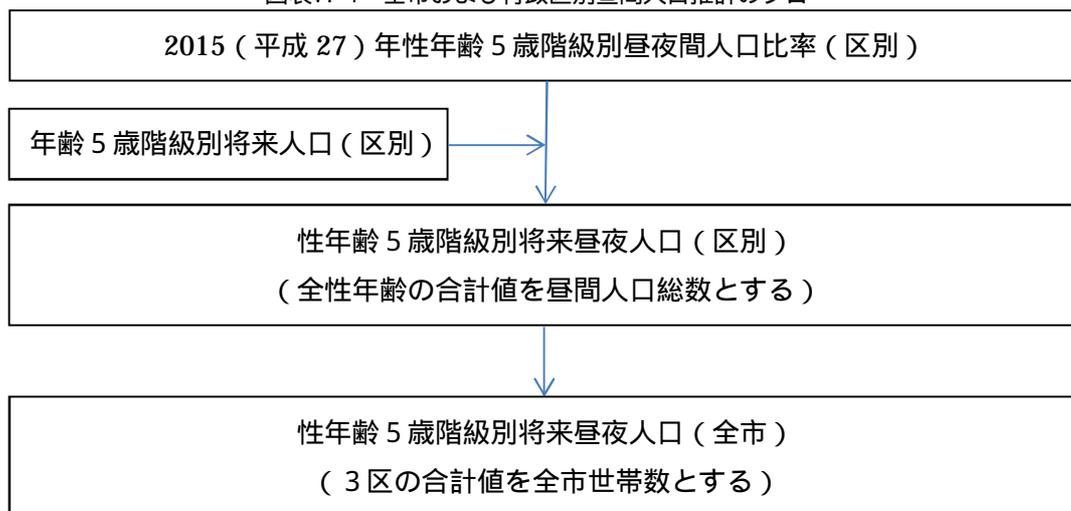
(2) 推計方法

本推計は、昼夜間人口比率 (昼間人口 (従業値・通学値による人口) の人口 (常住地による人口) に対する比率) を将来人口に乗じる方法により将来の昼間人口を推計した。

(3) 推計フロー

推計のフローは以下の通りである。

図表VI-1 全市および行政区別昼間人口推計のフロー



(4) 推計に用いたデータ

推計に用いたデータは以下の通りである。

図表VI-2 推計に用いたデータ一覧

項目	概要
推計項目	国勢調査における性年齢別昼間人口
基準人口	国勢調査における 2015 (平成 27) 年性年齢別昼間人口 年齢不詳数は年齢別に按分して含めた
将来昼夜間人口比率仮定値	国勢調査における 2015 (平成 27) 年性年齢別昼夜間人口比率で将来にわたり一定とした
将来人口	さがみはら都市みらい研究所が 2017 (平成 29) 年に作成した将来推計値

(5) 用語の定義

用語の定義は以下の通りである（以下、昼間人口推計についてすべて同様）。

図表VI-3 推計に用いた用語の定義

項目	概要
昼間人口	常住人口（夜間人口）に対し、常住人口のうち市外で従業・従学している者を減じ、市外常住者で、かつ市内で従業・従学している者を加えた人口
昼夜間人口比率	昼間人口を常住人口（夜間人口）で除した比率
全数調整	全体を区分した単位ごとに行った推計に対し、その合計が、全体を一括して推計した値と一致するように調整すること。

1-2. 推計手順の詳細

(1) 将来昼夜間人口比率の仮定値の作成方法

相模原市の行政区は、政令指定都市移行以前の昼間人口が得られないため、過去の趨勢にもとづいて昼夜間人口比率の将来仮定値を作成することができない。また、全市であれば過去の趨勢にもとづいて性年齢別昼夜間人口比率の将来仮定値を作成することも可能だが、これを各区に当てはめて推計した場合、各区と全市平均の性年齢別昼間人口の傾向が異なるため、適切な推計値を得ることができない。

このため、各区の性年齢別昼夜間人口比率の特性を推計値に反映することを重視し、2015（平成27）年度の各区分別性年齢別昼夜間人口比率を将来昼夜間人口比率の仮定値とした。

(2) 将来昼間人口の推計

性年齢5歳階級別昼夜間人口比率を将来の性年齢5歳階級別人口に乗じて性年齢別昼間人口を算出した。この際、性年齢別人口の変動による昼間人口への影響を推計値に反映するため、全性年齢総数の推計値による全数調整は行わず、性年齢別昼間人口の合計を性年齢別昼間人口の総数とした。

(3) 開発インパクトの反映

昼間人口は市内に新たな通勤・通学先が創出されれば増加することが見込まれる。このため、過去の趨勢に織り込まれているとは言いがたい、大規模な就業人口増につながる事業を推計に加味することとした（さがみはら都市みらい研究所が発表した「2015（平成27）年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計」の「開発等による人口の上乗せ」で見込んだ事業をベース）。

将来推計値に反映した開発インパクトと規模は以下の表の通りであり、それぞれ、インパクトの総数を該当する行政区における昼間人口の性年齢5歳階級別比率で按分した数値を、供用予定年度以降のすべての推計年度の性年齢階級の推計値に加算した。

図表VI-4 昼間人口の推計に加味した開発インパクト一覧

地区名	区	産業区分	従業人口 (人)	供用時期	反映時期
橋本駅周辺整備事業	緑	第三次産業	3,600	平成 40、41 年 (2028,2029 年)	平成 42 年 (2030 年)
相模原駅周辺地区整備事業	中央	第三次産業	20,000	平成 39 年 (2027 年)	平成 42 年 (2030 年)
麻溝台・新磯野地区整備推進事業 (第一整備地区)	南	第二次産業	1,800	平成 31～35 年 (2019～2023 年)	平成 37 年 (2025 年)
		第三次産業	4,600		
当麻地区整備促進事業(塩田原地区)	南	第二次産業	1,700	平成 33、34 年 (2021,2022 年)	平成 37 年 (2025 年)

注) 供用時期または従業人口規模が不明なもの(相模原インターチェンジ周辺新拠点まちづくり事業) 従業人口規模が小規模なもの(500 人以下)(金原準工西側地区整備推進事業)は除外した。

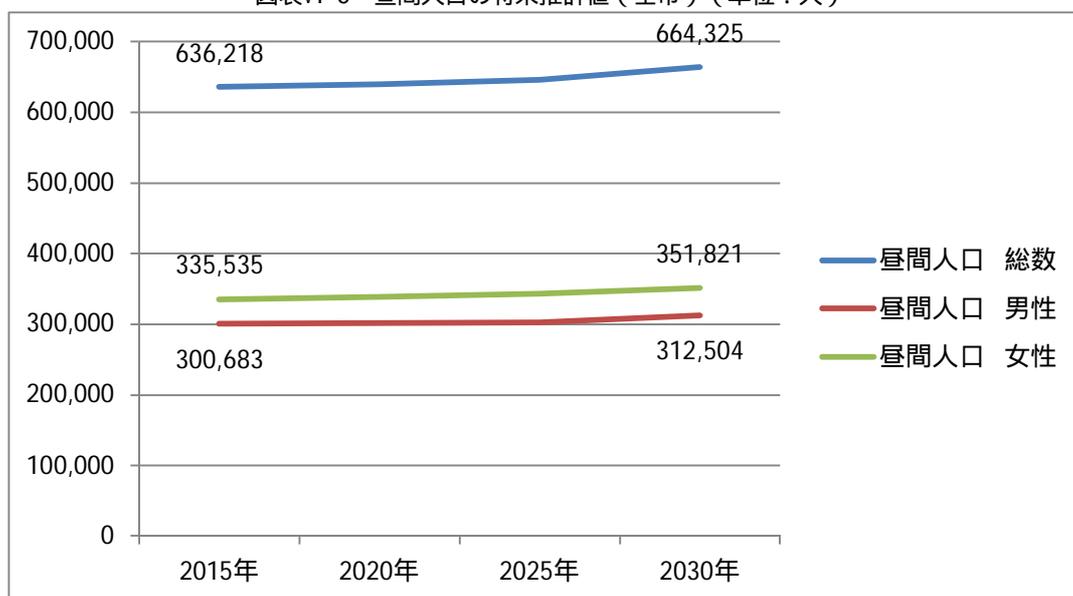
1-3. 推計結果

(1) 全市

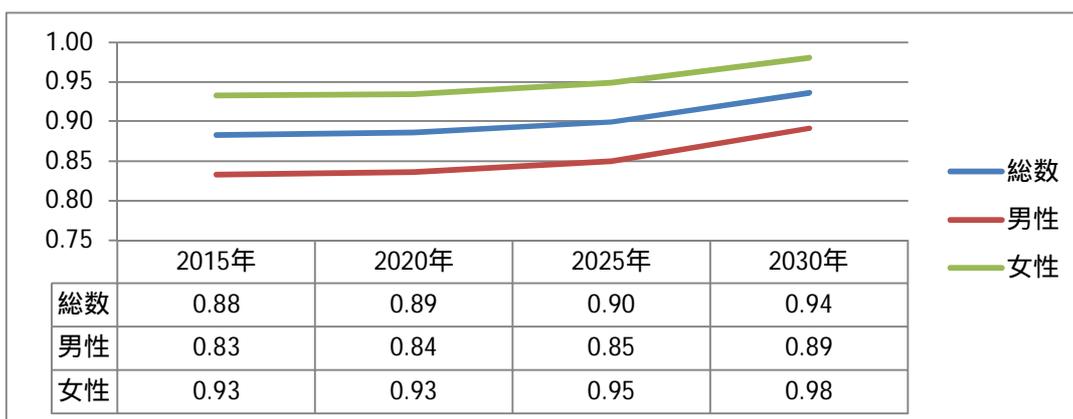
全市の昼間人口は総数、男女とも 2030(平成 42)年まで継続して増加し、2030(平成 42)年には総数 664,325 人、男性 312,504 人、女性 351,821 人となる。また、昼夜間人口比率は男女とも 2025(平成 37)年まで高齢化の進展により微増するが、これに加え、2030(平成 42)年に大規模な開発インパクトの影響によりさらに上昇する。

性年齢別では、男女とも 65 歳以上が一貫して大きく増加、25 歳以下は一貫して大きく減少する。

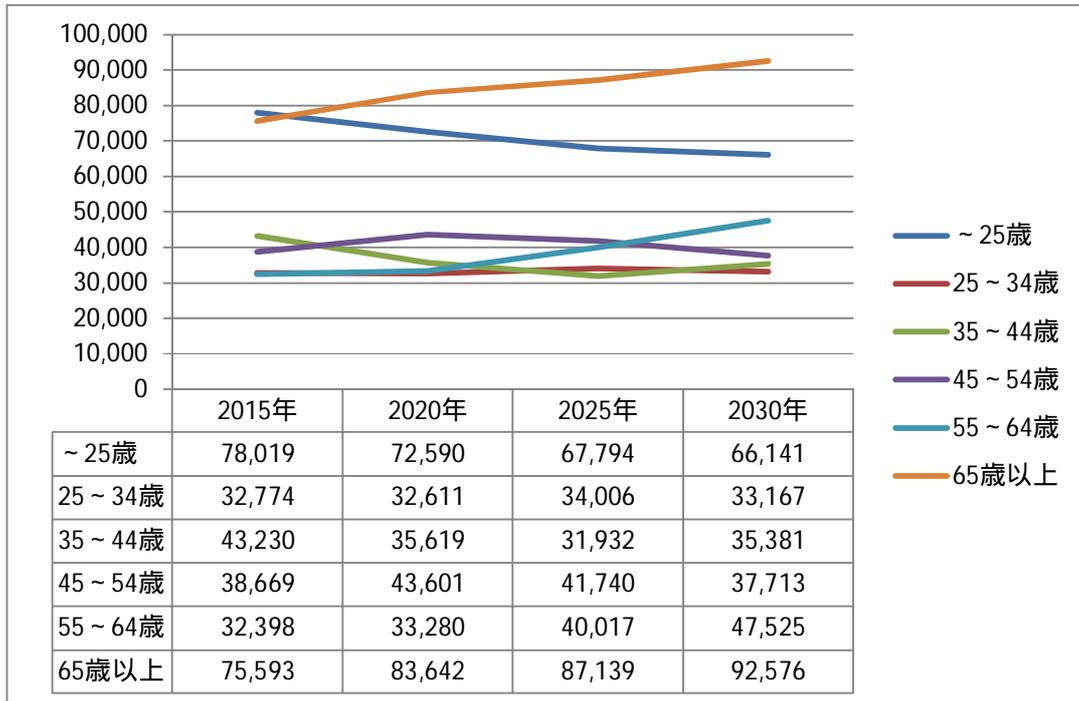
図表VI-5 昼間人口の将来推計値(全市)(単位:人)



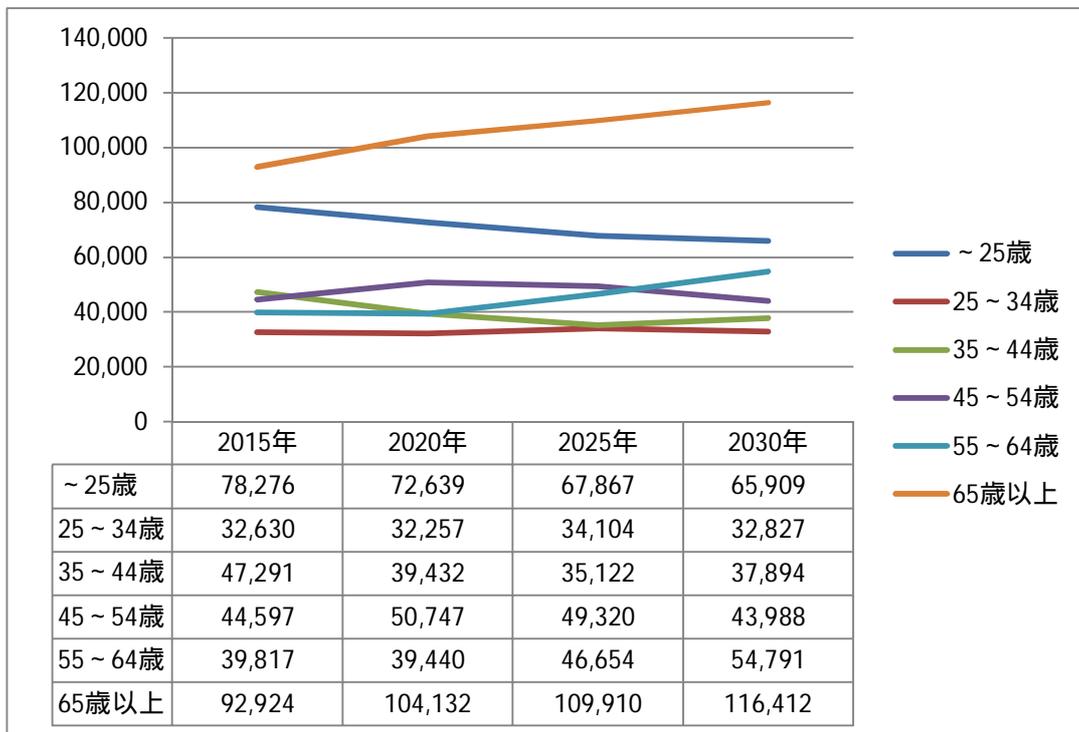
図表VI-6 昼夜間人口比率の推移(全市)



図表VI-7 性別年齢区分別昼間人口（男性、全市）（単位：人）



図表VI-8 性別年齢区分別昼間人口（女性、全市）（単位：人）



図表VI-9 昼間人口の将来推計値（男女総数、全市）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	636,218	639,992	645,604	664,325
15歳未満	89,532	85,043	80,569	78,001
15～19歳	32,878	28,391	27,673	26,221
20～24歳	33,886	31,795	27,419	27,829
25～29歳	30,775	34,407	33,028	30,363
30～34歳	34,629	30,461	35,082	35,631
35～39歳	40,222	34,304	31,180	37,876
40～44歳	50,298	40,747	35,875	35,399
45～49歳	45,420	49,749	41,334	38,614
50～54歳	37,846	44,599	49,726	43,087
55～59歳	32,957	38,390	45,954	52,404
60～64歳	39,257	34,330	40,716	49,912
65～69歳	50,325	40,676	36,250	43,933
70～74歳	45,099	49,684	40,522	36,543
75～79歳	33,459	42,287	47,035	38,484
80～84歳	21,385	28,835	36,708	41,376
85歳以上	18,250	26,293	36,533	48,652

図表VI-10 昼間人口の将来推計値（男性、全市）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	300,683	301,344	302,628	312,504
15歳未満	45,921	43,652	41,339	39,948
15～19歳	15,868	13,630	13,343	12,706
20～24歳	16,230	15,308	13,112	13,488
25～29歳	15,793	17,532	16,828	15,548
30～34歳	16,981	15,079	17,178	17,620
35～39歳	19,165	16,269	14,944	18,201
40～44歳	24,065	19,350	16,988	17,181
45～49歳	21,412	23,311	19,231	18,138
50～54歳	17,257	20,291	22,510	19,575
55～59歳	14,662	17,414	20,812	23,808
60～64歳	17,736	15,866	19,204	23,717
65～69歳	23,016	19,207	17,548	21,814
70～74歳	21,323	22,845	19,273	17,909
75～79歳	16,153	19,583	21,255	18,038
80～84歳	9,289	13,224	16,162	17,859
85歳以上	5,813	8,783	12,901	16,956

図表VI-11 昼間人口の将来推計値（女性、全市）（単位：人）

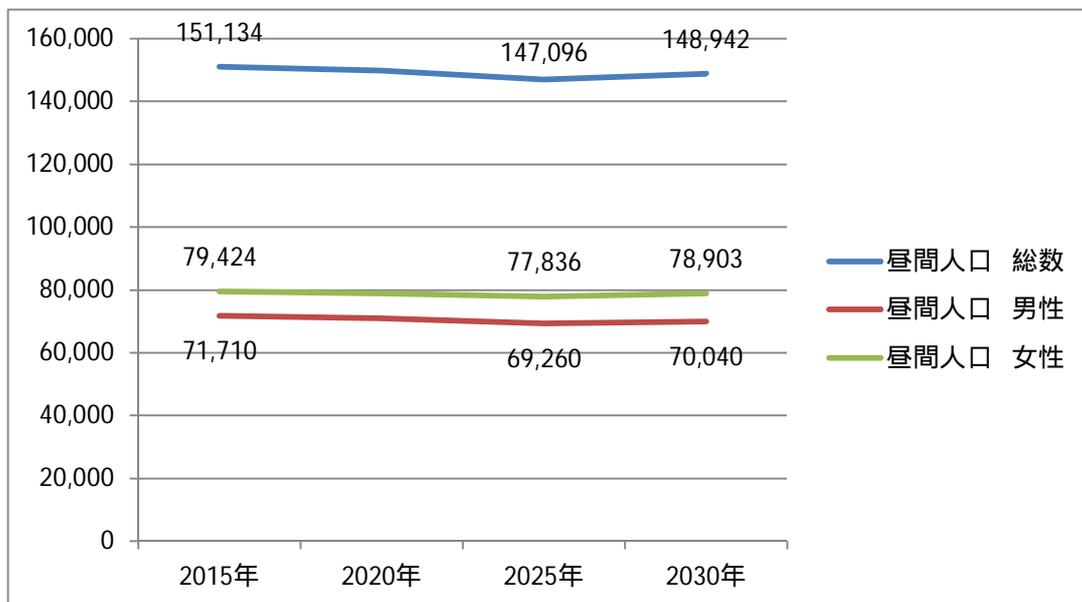
	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	335,535	338,648	342,976	351,821
15歳未満	43,611	41,391	39,230	38,053
15～19歳	17,010	14,761	14,330	13,515
20～24歳	17,656	16,486	14,307	14,341
25～29歳	14,981	16,875	16,200	14,815
30～34歳	17,648	15,382	17,904	18,012
35～39歳	21,057	18,035	16,236	19,676
40～44歳	26,234	21,397	18,886	18,218
45～49歳	24,009	26,438	22,103	20,476
50～54歳	20,589	24,309	27,216	23,512
55～59歳	18,296	20,976	25,142	28,596
60～64歳	21,522	18,464	21,512	26,195
65～69歳	27,309	21,469	18,703	22,118
70～74歳	23,776	26,838	21,249	18,635
75～79歳	17,305	22,704	25,780	20,447
80～84歳	12,096	15,612	20,545	23,516
85歳以上	12,437	17,509	23,633	31,697

(2) 緑区

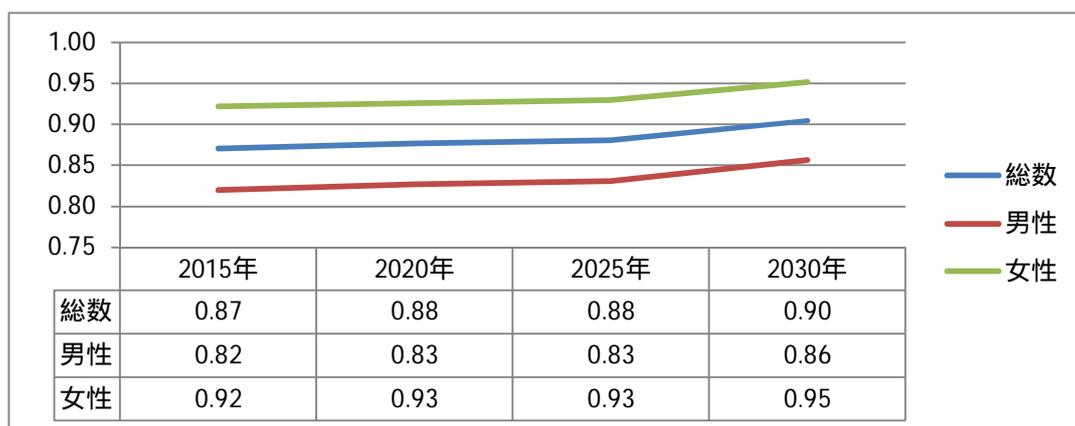
緑区の昼間人口は総数、男女とも2025(平成37)年まで減少したのち、開発インパクトによりやや増加し、2030(平成42)年時点では総数148,942人、男性70,040人、女性78,903人となる。また、高齢化の進展により、昼夜間人口比率は男女とも2030(平成42)年まで微増傾向となっている。

性年齢別では、男女の65歳以上が一貫して大きく増加する一方、男女の25歳以下、35~44歳は一貫して大きく減少、男女の25~34歳も一貫して緩やかに減少する。

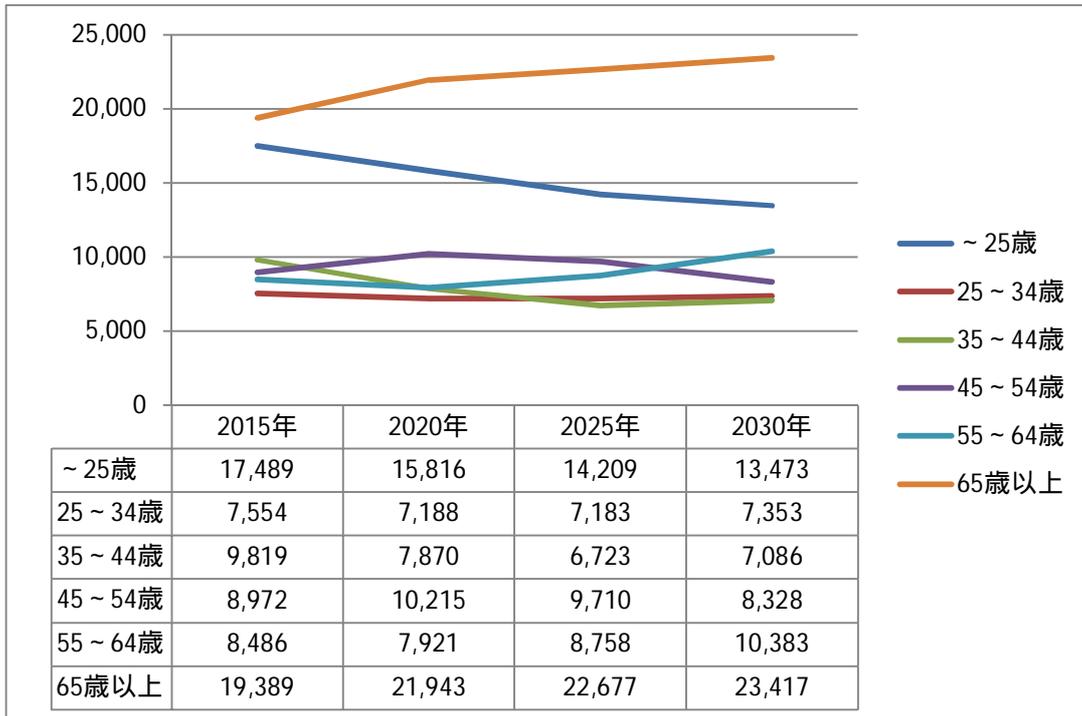
図表VI-12 昼間人口の将来推計値(緑区)(単位:人)



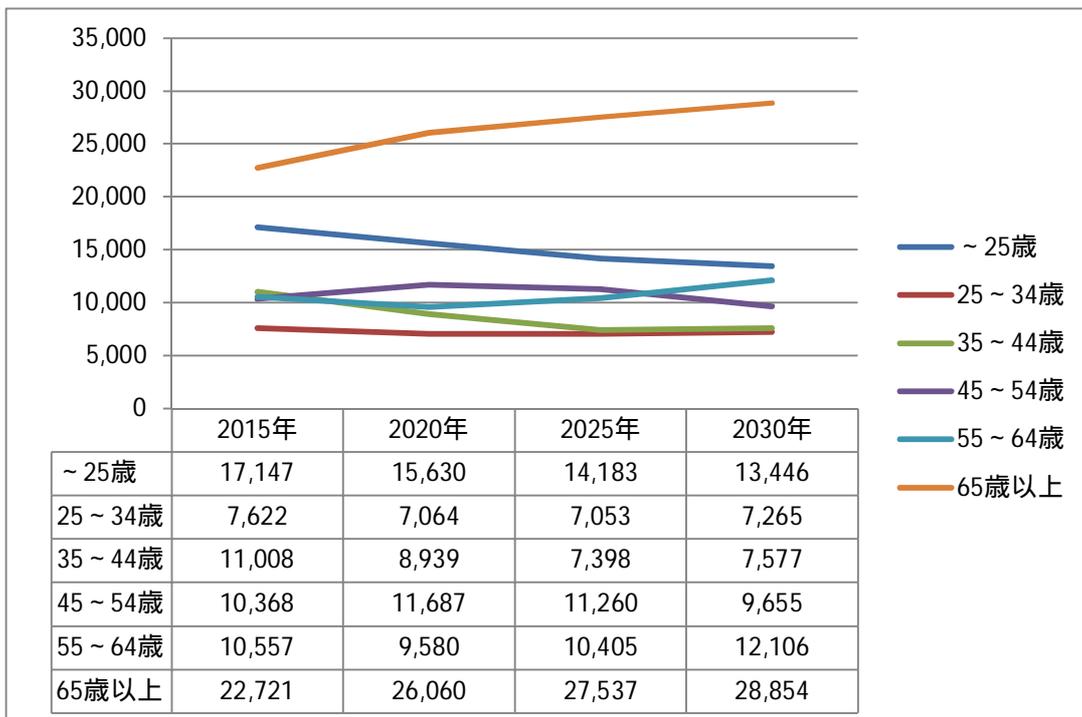
図表VI-13 昼夜間人口比率の推移(緑区)



図表VI-14 性別年齢区分別昼間人口（男性、緑区）（単位：人）



図表VI-15 性別年齢区分別昼間人口（女性、緑区）（単位：人）



図表VI-16 昼間人口の将来推計値（男女総数、緑区）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	151,134	149,914	147,096	148,942
15歳未満	21,667	19,523	17,610	16,612
15～19歳	6,471	5,852	5,383	4,911
20～24歳	6,499	6,070	5,400	5,396
25～29歳	7,204	7,515	7,105	7,147
30～34歳	7,973	6,738	7,131	7,471
35～39歳	9,185	7,542	6,460	7,455
40～44歳	11,642	9,268	7,662	7,208
45～49歳	10,309	11,769	9,393	8,288
50～54歳	9,031	10,133	11,578	9,695
55～59歳	8,372	8,907	10,001	11,809
60～64歳	10,671	8,594	9,162	10,680
65～69歳	13,600	11,061	8,938	9,884
70～74歳	11,214	13,420	10,928	9,024
75～79歳	7,666	10,500	12,654	10,400
80～84歳	4,990	6,640	9,098	11,159
85歳以上	4,640	6,382	8,597	11,804

図表VI-17 昼間人口の将来推計値（男性、緑区）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	71,710	70,953	69,260	70,040
15歳未満	10,974	9,863	8,963	8,473
15～19歳	3,224	2,839	2,544	2,356
20～24歳	3,291	3,114	2,702	2,644
25～29歳	3,682	3,834	3,661	3,617
30～34歳	3,873	3,354	3,521	3,735
35～39歳	4,265	3,539	3,106	3,577
40～44歳	5,554	4,331	3,617	3,509
45～49歳	4,871	5,617	4,398	3,947
50～54歳	4,102	4,598	5,313	4,381
55～59歳	3,703	4,030	4,519	5,416
60～64歳	4,783	3,892	4,240	4,967
65～69歳	6,371	5,228	4,271	4,860
70～74歳	5,630	6,349	5,217	4,380
75～79歳	3,762	5,175	5,888	4,893
80～84歳	2,150	3,086	4,258	4,951
85歳以上	1,477	2,105	3,044	4,332

図表VI-18 昼間人口の将来推計値（女性、緑区）（単位：人）

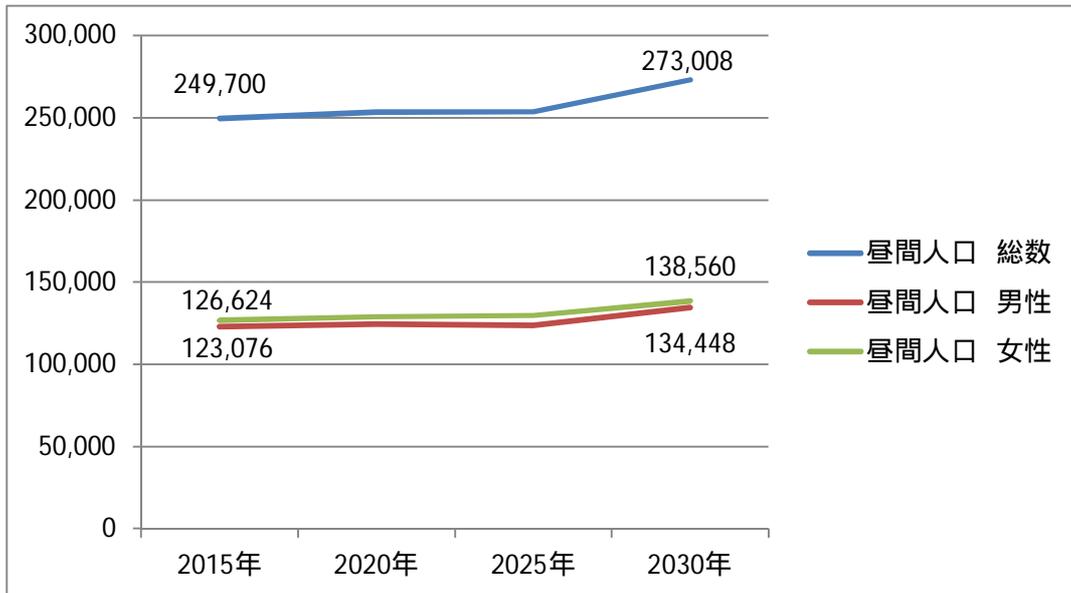
	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	79,424	78,961	77,836	78,903
15歳未満	10,692	9,660	8,647	8,139
15～19歳	3,247	3,014	2,839	2,555
20～24歳	3,208	2,957	2,698	2,752
25～29歳	3,522	3,681	3,443	3,529
30～34歳	4,100	3,384	3,610	3,736
35～39歳	4,920	4,003	3,354	3,878
40～44歳	6,088	4,937	4,044	3,699
45～49歳	5,439	6,153	4,995	4,341
50～54歳	4,930	5,535	6,265	5,314
55～59歳	4,669	4,877	5,482	6,393
60～64歳	5,888	4,703	4,922	5,713
65～69歳	7,230	5,833	4,667	5,024
70～74歳	5,584	7,072	5,711	4,644
75～79歳	3,904	5,325	6,766	5,507
80～84歳	2,840	3,554	4,840	6,207
85歳以上	3,164	4,276	5,553	7,472

(3) 中央区

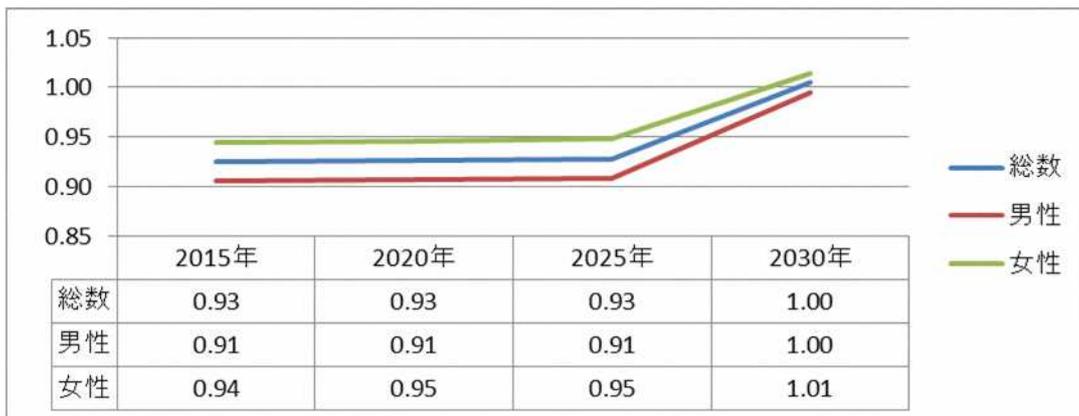
中央区の昼間人口は総数、男女とも2030(平成42)年まで継続して増加し、2030(平成42)年には総数273,008人、男134,448人、女138,560人となる。また、昼夜間人口比率は男女とも2025(平成37)年までほぼ横ばいだが、2030(平成42)年に大規模な開発インパクトの影響により大きく上昇する。

性年齢別では、男女の55歳以上が一貫して大きく増加する一方、男女の25歳以下は一貫して減少する。

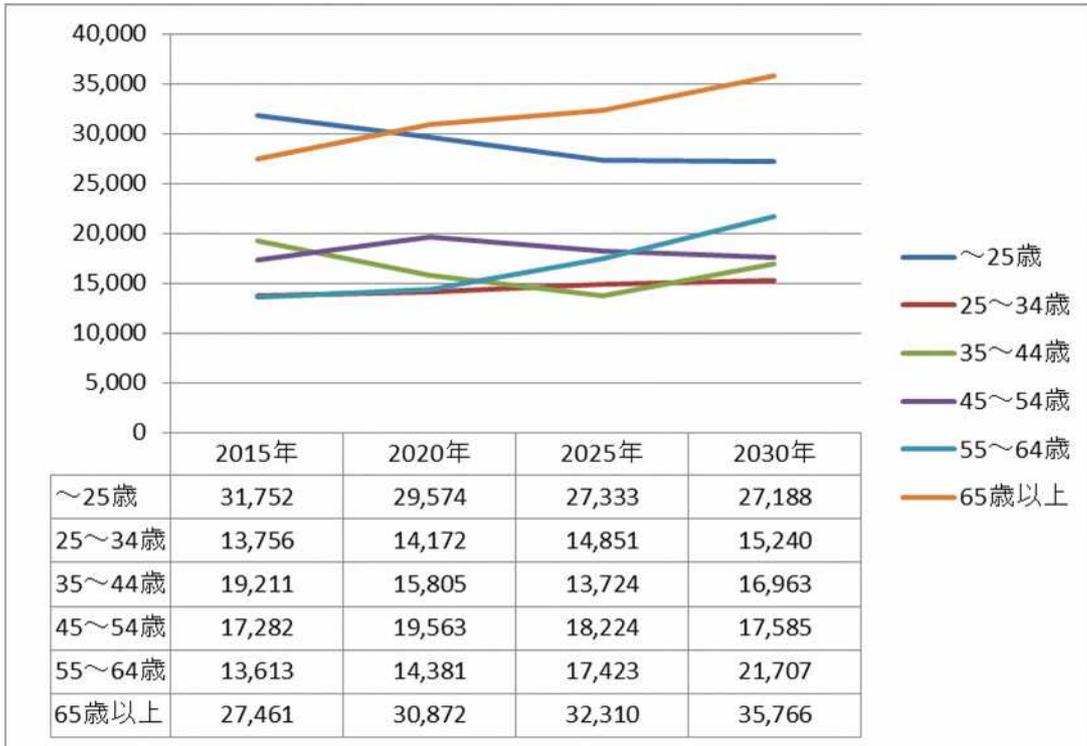
図表VI-19 昼間人口の将来推計値(中央区)(単位:人)



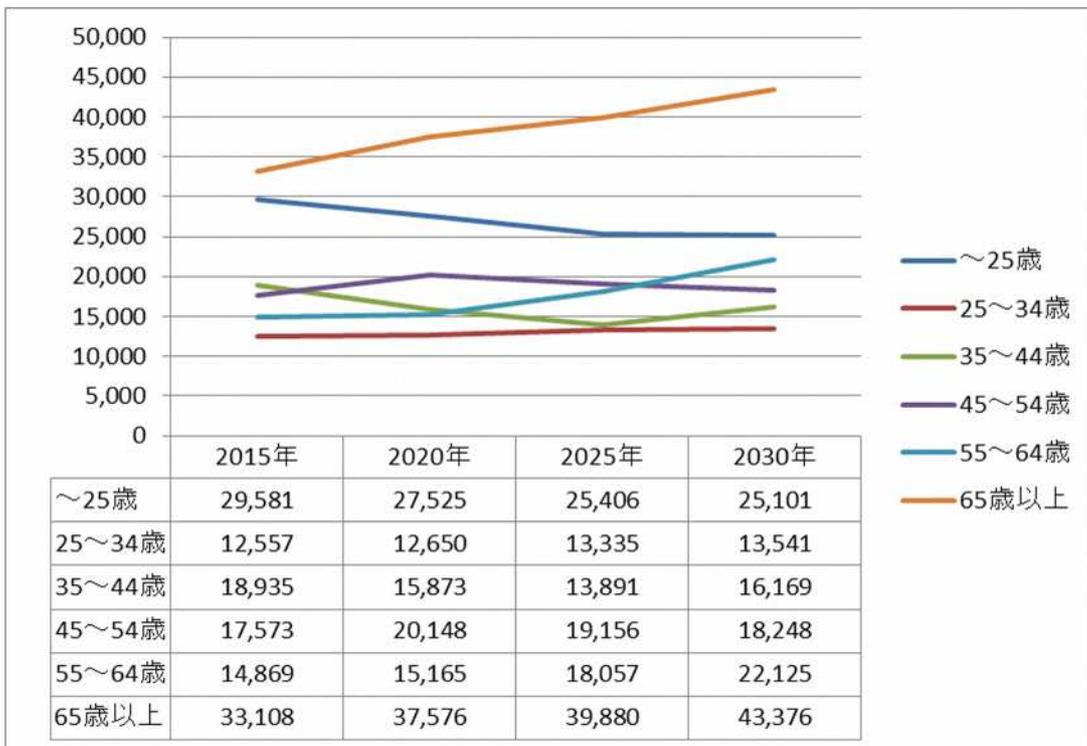
図表VI-20 昼夜間人口比率の推移(中央区)



図表VI-21 性別年齢区分別昼間人口（男性、中央区）（単位：人）



図表VI-22 性別年齢区分別昼間人口（女性、中央区）（単位：人）



図表VI-23 昼間人口の将来推計値（男女総数、中央区）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	249,700	253,303	253,591	273,008
15歳未満	34,367	32,820	31,165	30,140
15～19歳	12,973	10,882	10,542	10,335
20～24歳	13,994	13,396	11,032	11,813
25～29歳	12,146	14,095	13,482	12,803
30～34歳	14,168	12,726	14,705	15,977
35～39歳	16,897	14,451	12,925	17,105
40～44歳	21,248	17,226	14,690	16,027
45～49歳	19,222	20,918	16,941	17,100
50～54歳	15,634	18,793	20,438	18,733
55～59歳	13,233	15,940	19,118	22,554
60～64歳	15,249	13,606	16,362	21,278
65～69歳	18,695	15,315	13,648	17,775
70～74歳	16,483	18,389	15,045	14,156
75～79歳	11,977	15,381	17,241	14,398
80～84歳	7,410	10,342	13,340	15,245
85歳以上	6,005	9,021	12,917	17,568

図表VI-24 昼間人口の将来推計値（男性、中央区）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	123,076	124,366	123,865	134,448
15歳未満	17,650	16,944	16,107	15,589
15～19歳	6,595	5,499	5,385	5,269
20～24歳	7,507	7,131	5,840	6,330
25～29歳	6,507	7,636	7,222	6,902
30～34歳	7,249	6,536	7,629	8,338
35～39歳	8,543	7,226	6,485	8,845
40～44歳	10,667	8,579	7,239	8,118
45～49歳	9,651	10,379	8,340	8,479
50～54歳	7,631	9,184	9,883	9,106
55～59歳	6,301	7,711	9,268	10,934
60～64歳	7,313	6,670	8,155	10,773
65～69歳	8,681	7,421	6,757	9,064
70～74歳	7,806	8,551	7,298	7,108
75～79歳	5,854	7,058	7,785	6,840
80～84歳	3,193	4,821	5,838	6,610
85歳以上	1,928	3,020	4,632	6,143

図表VI-25 昼間人口の将来推計値（女性、中央区）（単位：人）

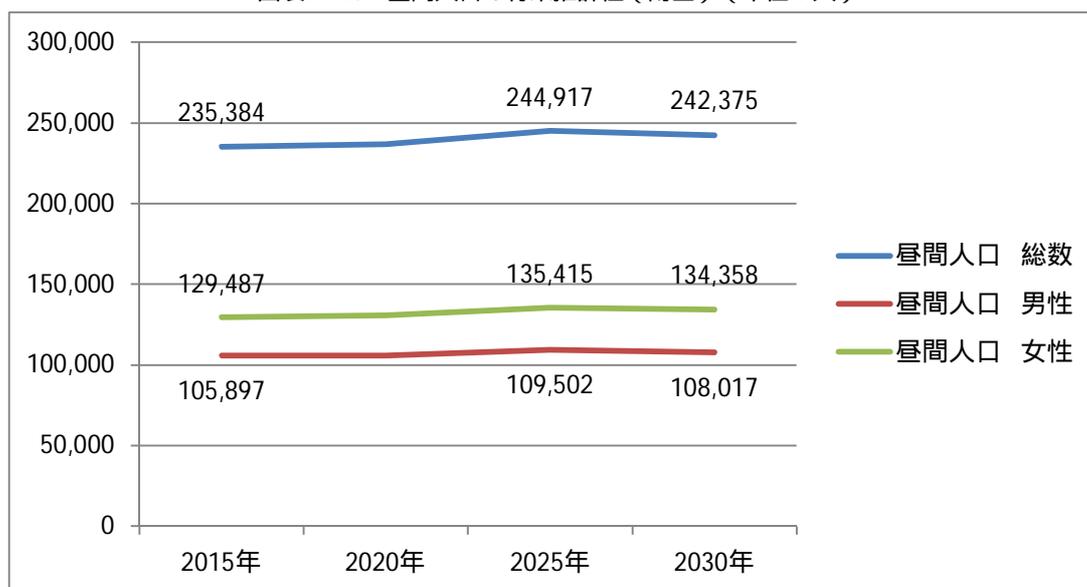
	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	126,624	128,937	129,725	138,560
15歳未満	16,717	15,877	15,057	14,552
15～19歳	6,377	5,383	5,157	5,066
20～24歳	6,487	6,265	5,192	5,483
25～29歳	5,638	6,459	6,260	5,901
30～34歳	6,919	6,191	7,075	7,639
35～39歳	8,354	7,225	6,440	8,261
40～44歳	10,581	8,647	7,451	7,909
45～49歳	9,571	10,539	8,601	8,621
50～54歳	8,002	9,609	10,555	9,627
55～59歳	6,933	8,229	9,850	11,620
60～64歳	7,937	6,936	8,207	10,505
65～69歳	10,015	7,894	6,891	8,711
70～74歳	8,677	9,838	7,747	7,047
75～79歳	6,123	8,323	9,456	7,557
80～84歳	4,217	5,521	7,502	8,636
85歳以上	4,077	6,001	8,285	11,425

(4) 南区

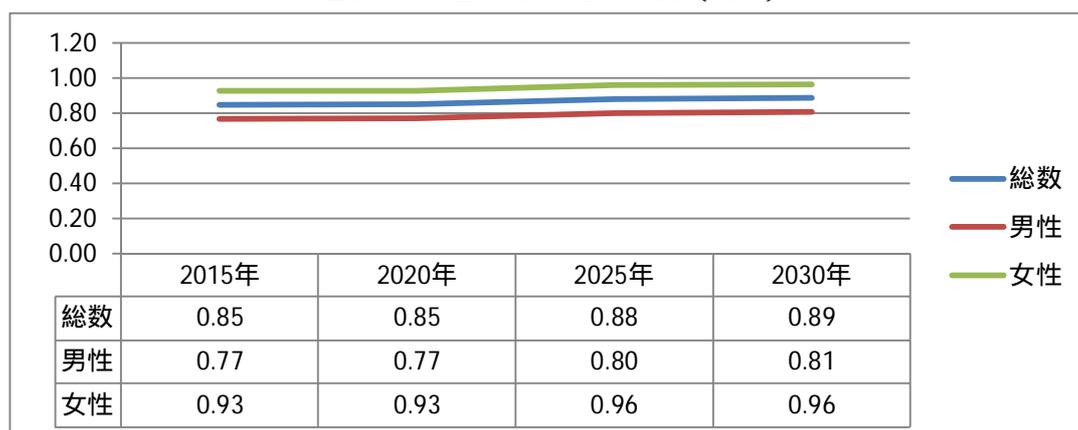
南区の昼間人口は総数、男女とも高齢化の進展に加えて 2025（平成 37）年に開発インパクトの影響もあって総数 244,917 人、男 109,502 人、女 135,415 人でまで上昇し、その後減少に転じ 2030（平成 42）年時点では総数 242,375 人、男 108,017 人、女 134,358 人となる。また、昼夜間人口比率は男女とも 2030（平成 42）年までほぼ横ばいである。

性年齢別では、男女の 55 歳以上が一貫して大きく増加する一方、男女の 25 歳以下は一貫して減少する。

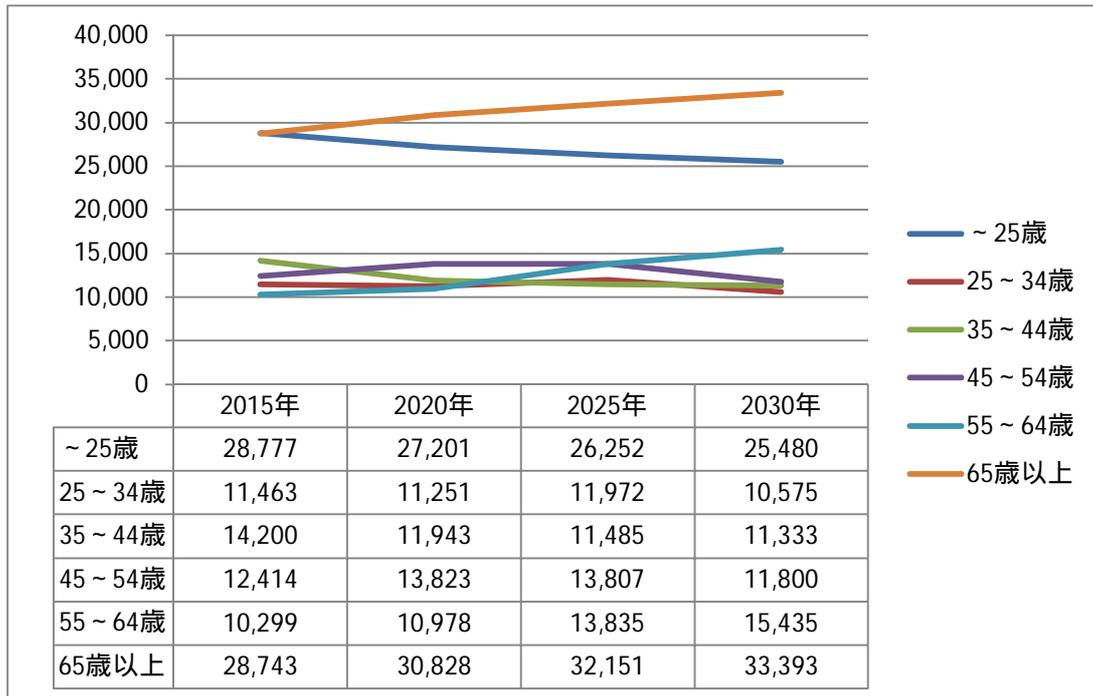
図表VI-26 昼間人口の将来推計値（南区）（単位：人）



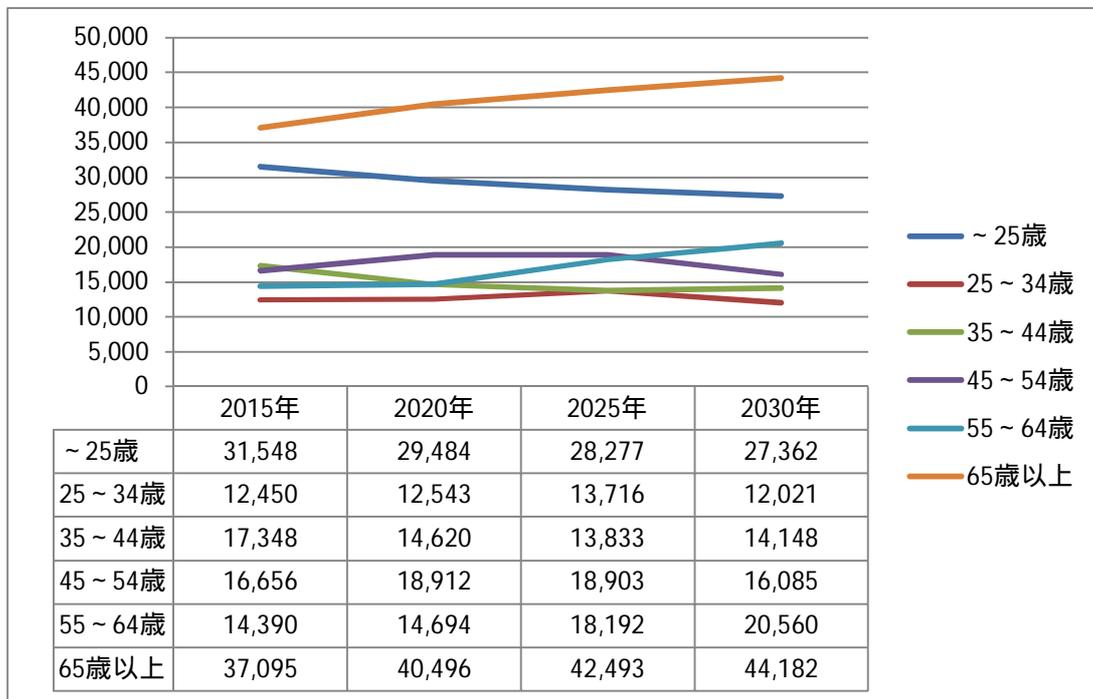
図表VI-27 昼夜間人口比率の推移（南区）



図表VI-28 性別年齢区分別昼間人口（男性、南区）（単位：人）



図表VI-29 性別年齢区分別昼間人口（女性、南区）（単位：人）



図表VI-30 昼間人口の将来推計値（男女総数、南区）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	235,384	236,774	244,917	242,375
15歳未満	33,498	32,699	31,794	31,249
15～19歳	13,434	11,657	11,748	10,975
20～24歳	13,393	12,329	10,987	10,619
25～29歳	11,425	12,797	12,442	10,412
30～34歳	12,488	10,997	13,246	12,183
35～39歳	14,140	12,310	11,795	13,317
40～44歳	17,408	14,253	13,524	12,164
45～49歳	15,889	17,061	15,000	13,226
50～54歳	13,181	15,673	17,710	14,659
55～59歳	11,352	13,543	16,835	18,041
60～64歳	13,337	12,130	15,192	17,954
65～69歳	18,030	14,300	13,665	16,273
70～74歳	17,402	17,875	14,549	13,363
75～79歳	13,816	16,406	17,141	13,687
80～84歳	8,985	11,853	14,270	14,972
85歳以上	7,605	10,890	15,019	19,280

図表VI-31 昼間人口の将来推計値（男性、南区）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	105,897	106,024	109,502	108,017
15歳未満	17,297	16,845	16,269	15,887
15～19歳	6,049	5,292	5,413	5,081
20～24歳	5,432	5,064	4,570	4,513
25～29歳	5,604	6,061	5,944	5,028
30～34歳	5,859	5,190	6,028	5,546
35～39歳	6,357	5,503	5,353	5,780
40～44歳	7,843	6,440	6,133	5,553
45～49歳	6,890	7,315	6,493	5,712
50～54歳	5,524	6,508	7,314	6,088
55～59歳	4,658	5,673	7,025	7,458
60～64歳	5,641	5,305	6,810	7,977
65～69歳	7,965	6,558	6,519	7,890
70～74歳	7,887	7,946	6,758	6,420
75～79歳	6,538	7,350	7,583	6,304
80～84歳	3,945	5,317	6,067	6,298
85歳以上	2,408	3,658	5,224	6,481

図表VI-32 昼間人口の将来推計値（女性、南区）（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年
総数	129,487	130,750	135,415	134,358
15歳未満	16,201	15,854	15,525	15,362
15～19歳	7,385	6,364	6,335	5,895
20～24歳	7,962	7,265	6,417	6,105
25～29歳	5,821	6,736	6,497	5,384
30～34歳	6,629	5,808	7,219	6,637
35～39歳	7,783	6,807	6,442	7,537
40～44歳	9,565	7,813	7,391	6,611
45～49歳	8,999	9,747	8,507	7,514
50～54歳	7,657	9,165	10,396	8,571
55～59歳	6,694	7,869	9,810	10,582
60～64歳	7,696	6,825	8,382	9,977
65～69歳	10,065	7,742	7,145	8,383
70～74歳	9,516	9,929	7,792	6,943
75～79歳	7,278	9,056	9,558	7,382
80～84歳	5,040	6,537	8,203	8,673
85歳以上	5,196	7,232	9,795	12,800

2 津久井地域昼間人口推計

2-1 推計の枠組み

(1) 推計期間

推計期間は 2015（平成 27）年を基準年とし、2030（平成 42）年時点までの 5 年毎 15 年間とした。

(2) 推計方法

本推計は、昼夜間人口比率（昼間人口（従業員・通学値による人口）の人口（常住地による人口）に対する比率）を将来人口に乗じる方法により将来の昼間人口を推計した。

(3) 推計フロー

推計のフローは以下の通りである。

図表VI-33 区別世帯数推計のフロー



(4) 推計に用いたデータ

推計に用いたデータは以下の通りである。

図表VI-34 推計に用いたデータ一覧

項目	概要
推計項目	国勢調査における昼間人口総数
基準人口	津久井地域の実績値が得られないため、性年齢別人口に緑区の昼夜間人口比率を乗じて得た推計値を昼間人口の基準値とした
将来世帯主率仮定値	緑区の国勢調査における 2015（平成 27）年性年齢別昼夜間人口比率で将来にわたり一定とした
将来人口	さがみはら都市みらい研究所が 2017（平成 29）年に作成した将来推計値

2-2．推計手順の詳細

(1) 将来昼夜間人口比率の仮定値の作成方法

国勢調査で町丁別の昼間人口が得られないことから、津久井地域については昼間人口の実績値自体が存在しない。このため、緑区の2015（平成27）年の緑区の性年齢別昼夜間人口比率を性年齢別昼夜間人口の将来仮定値とすることとする。

(2) 将来昼間人口の推計

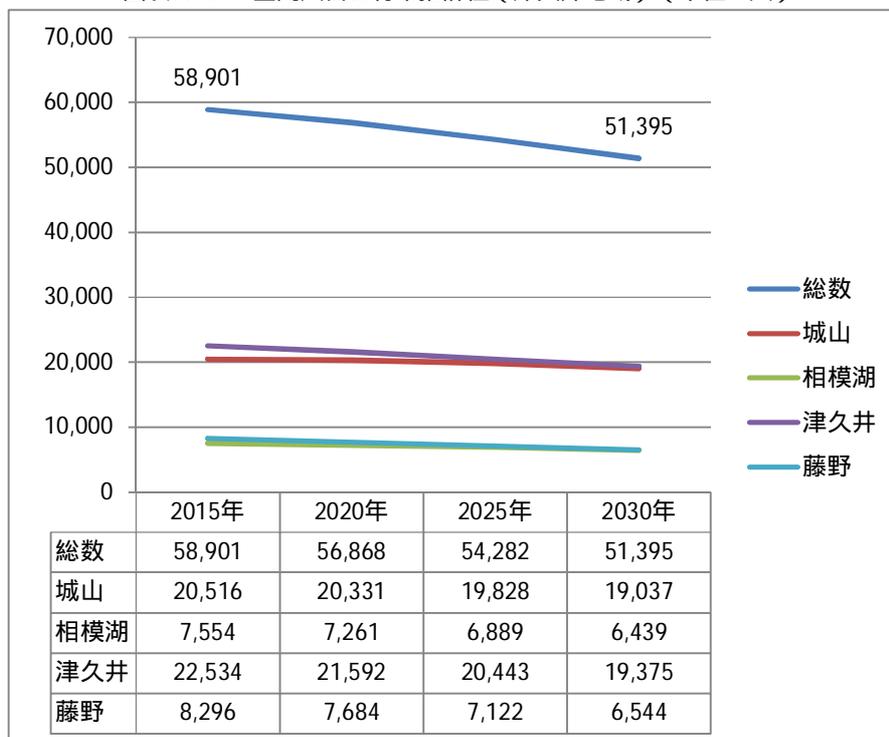
性年齢5歳階級別昼夜間人口比率を将来の性年齢5歳階級別人口に乗じて昼間人口を算出した。なお、各地区の実際の性年齢別昼夜間人口比率と仮定値には当然ながら差異があり、個別の性年齢区分の推計値には実態との間に相当程度誤差があると想定されるため、推計値は各地区の昼間人口総数のみとすることとした。

また、統計実績値が存在しないため、2015（平成27）年値も上記の手法による推計値として算出した。

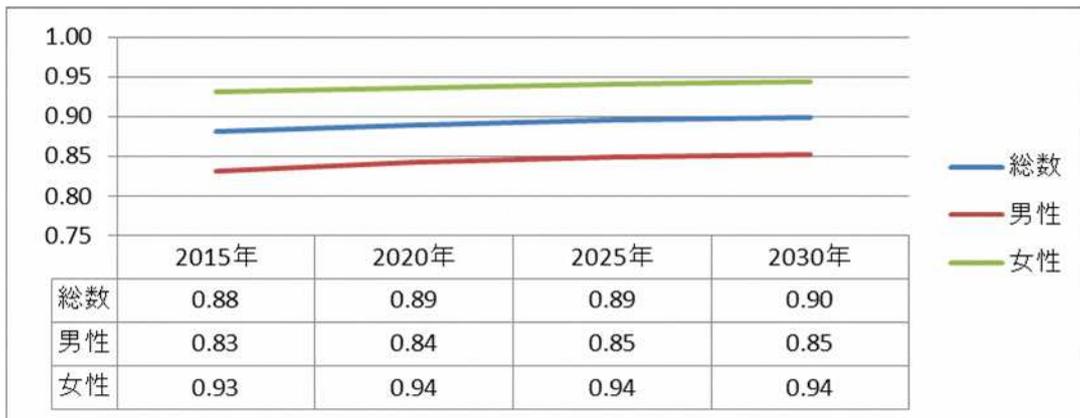
2-3．推計結果

津久井地域の昼間人口は総人口の減少により一貫して減少し、2030（平成42）年時点では総数51,395人となる見込みである。また、昼夜間人口比率は総数、男女とも高齢化の進展により2030（平成42）年までに緩やかに上昇する。また、地区別に見ると、城山地区が他と比較して上昇ペースがより緩やかとなっている。

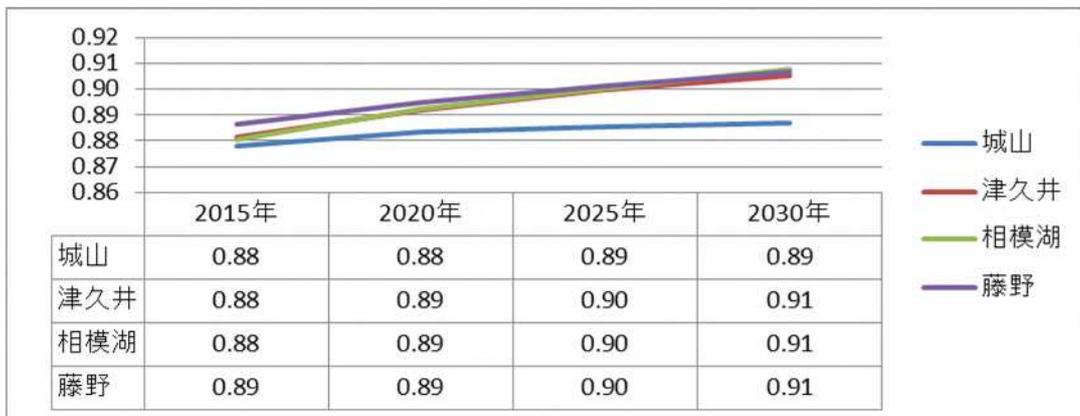
図表VI-35 昼間人口の将来推計値（津久井地域）（単位：人）



図表VI-36 昼夜間人口比率の推移（津久井地域）



図表VI-37 昼夜間人口比率の推移（津久井地域、地区別）



3 昼間人口の推移と変動要因に関する考察

- ・ここでは、昼間人口の過去の動向から相模原市における昼間人口の傾向とその要因について考察する。

(1) 昼夜間人口比率のこれまでの推移

- ・相模原市の昼夜間人口比率は中期的に上昇している。
- ・一方、相模原市の性年齢別の昼夜間人口の傾向を見ると、男性の生産年齢人口の比率が低く、年少者、高齢者の比率が高い。女性は全体に男性よりも比率が低いが、女性の中での年齢別傾向は、男性と同様に生産年齢人口よりも高齢者の方が高くなっている。

図表VI-38 昼夜間人口比率の推移（単位：％）

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
男性					
総数	0.77	0.79	0.82	0.83	0.83
15歳未満	0.99	0.99	0.99	1.00	1.00
15～19歳	0.79	0.82	0.90	0.87	0.85
20～24歳	0.66	0.70	0.79	0.80	0.76
25～29歳	0.69	0.75	0.75	0.76	0.79
30～34歳	0.66	0.72	0.75	0.73	0.76
35～39歳	0.67	0.68	0.72	0.75	0.74
40～44歳	0.71	0.68	0.69	0.72	0.75
45～49歳	0.69	0.73	0.70	0.70	0.73
50～54歳	0.67	0.71	0.73	0.71	0.70
55～59歳	0.70	0.71	0.73	0.75	0.72
60～64歳	0.83	0.85	0.83	0.82	0.81
65～69歳	0.93	0.93	0.93	0.91	0.91
70～74歳	0.98	0.97	0.98	0.97	0.96
75～79歳	1.00	0.99	0.99	0.99	0.99
80～84歳	1.00	1.00	1.00	0.99	1.00
85歳以上	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
女性					
総数	0.91	0.92	0.93	0.93	0.93
15歳未満	0.99	0.99	0.99	1.00	1.00
15～19歳	0.87	0.90	0.97	1.00	0.96
20～24歳	0.72	0.78	0.84	0.86	0.84
25～29歳	0.76	0.79	0.78	0.78	0.80
30～34歳	0.89	0.86	0.85	0.84	0.85
35～39歳	0.94	0.91	0.90	0.88	0.88
40～44歳	0.94	0.94	0.92	0.90	0.90
45～49歳	0.94	0.94	0.93	0.91	0.90
50～54歳	0.95	0.95	0.94	0.93	0.92
55～59歳	0.95	0.96	0.95	0.95	0.94
60～64歳	0.97	0.98	0.97	0.96	0.96
65～69歳	0.99	0.99	0.99	0.99	0.98
70～74歳	1.00	1.00	1.00	0.99	0.99
75～79歳	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
80～84歳	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
85歳以上	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
凡例：2015年の昼夜間人口比率をもとに以下の基準で色分け					
	0.8未満	0.9以上		1.0以上	

注) 2005(平成17)年以前の数値は旧1市4町の昼間人口合計を夜間人口合計で除して算出した。

資料) 国勢調査より作成

(2) これまでの相模原市の性年齢別人口の推移と昼夜間人口比率への影響

- ・相模原市のこれまでの人口動向を見ると、少子高齢化と若年層の流出により、男女とも 35～49 歳を除く生産年齢人口の減少傾向が見られ、特に 34 歳までの若年層の減少率が大きい。一方、60 歳以上の増加率が非常に高くなっており、65 歳以上は男女とも 2 倍以上に増加している。
- ・下表の色分けに見られるように、人口が急増している高齢層は昼夜間人口比率が高く、減少している若年層、特に男性若年層は昼夜間人口比率が低い。
- ・近年、相模原市は、生産年齢の昼間人口が 2005（平成 17）年をピークに減少しているにもかかわらず昼夜間人口比率が緩やかに上昇しているが、その要因は、従業・従学の場の増加によるものではなく、市外流出比率が低く相対的に昼夜間人口比率が高い高齢者の割合が増加したことが要因となっていると考えられる。

図表VI-39 性年齢別人口の推移（1995年を1とした場合の指数）

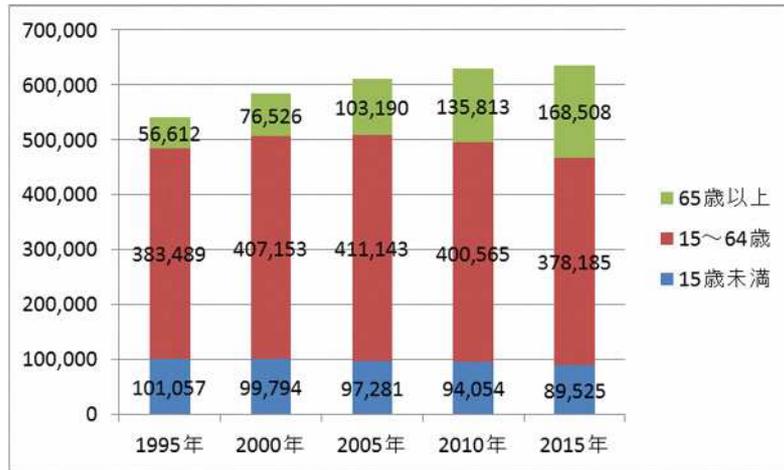
	2000年	2005年	2010年	2015年
男性				
総数	1.05	1.07	1.09	1.09
15歳未満	0.99	0.97	0.93	0.87
15～19歳	0.85	0.77	0.78	0.76
20～24歳	0.80	0.72	0.62	0.58
25～29歳	1.08	0.88	0.74	0.63
30～34歳	1.21	1.28	1.03	0.85
35～39歳	1.24	1.44	1.52	1.22
40～44歳	0.92	1.09	1.27	1.37
45～49歳	0.84	0.75	0.89	1.04
50～54歳	1.06	0.87	0.79	0.93
55～59歳	1.17	1.24	1.04	0.93
60～64歳	1.32	1.55	1.67	1.39
65～69歳	1.35	1.83	2.17	2.32
70～74歳	1.55	2.13	2.91	3.49
75～79歳	1.37	2.14	2.98	4.10
80～84歳	1.19	1.69	2.64	3.71
85歳以上	1.59	2.07	2.79	4.33
女性				
総数	129,831	133,263	33,663	33,673
15歳未満	0.99	0.96	0.92	0.87
15～19歳	0.87	0.78	0.79	0.76
20～24歳	0.85	0.76	0.67	0.64
25～29歳	1.14	0.93	0.81	0.70
30～34歳	1.22	1.34	1.09	0.93
35～39歳	1.21	1.42	1.54	1.26
40～44歳	0.88	1.02	1.21	1.31
45～49歳	0.79	0.67	0.79	0.92
50～54歳	1.12	0.88	0.76	0.88
55～59歳	1.32	1.48	1.19	1.01
60～64歳	1.30	1.70	1.92	1.52
65～69歳	1.32	1.72	2.26	2.56
70～74歳	1.27	1.69	2.20	2.89
75～79歳	1.28	1.63	2.17	2.81
80～84歳	1.24	1.59	2.05	2.71
85歳以上	1.56	2.22	2.86	3.73

凡例：2015年の昼夜間人口比率をもとに以下の基準で色分け

0.8未満	0.9以上	1.0以上
-------	-------	-------

資料) 国勢調査より作成

図表VI-40 年齢別昼間人口の推移（単位：人）

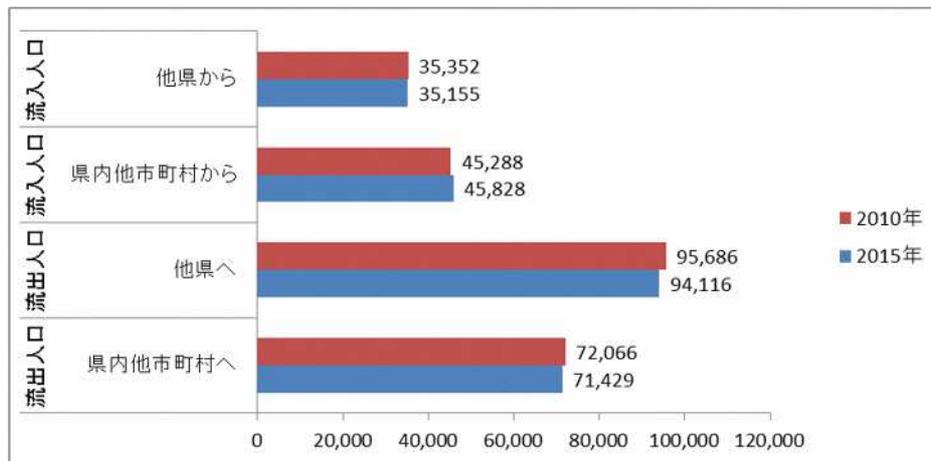


資料) 国勢調査より作成

(3) 流入流出人口の動向

- ・相模原市では従業・従学による流出人口が流入人口を上回っているが、特に県外への流出が大きくなっている。
- ・その内訳を見ると、県外は東京都が大部分で東京都特別区、町田市、八王子市が多くなっている。一方、県内では横浜市が最も多く、次いで厚木市、川崎市が多くなっている。

図表VI-41 相模原市の従業・従学による流入、流出人口の動向



資料) 国勢調査より作成

図表VI-42 相模原市の従業・従学による流出先地域（2015年）

従業・従学地	実数	比率
相模原市に常住する就業者・通学者	361,529	100.0%
相模原市内で従業・従学	179,430	49.6%
相模原市外で従業・従学	167,087	46.2%
うち 横浜市	24,952	6.9%
川崎市	8,810	2.4%
厚木市	9,472	2.6%
その他神奈川県	27,663	7.7%
東京都特別区	42,967	11.9%
八王子市	12,770	3.5%
町田市	18,960	5.2%
その他東京都	14,129	3.9%
上記以外	7,364	2.0%
不明	15,012	4.2%

注) 本表の数値には15歳未満が含まれない一方、市外総数に「不詳・外国」が含まれている
資料) 国勢調査より作成